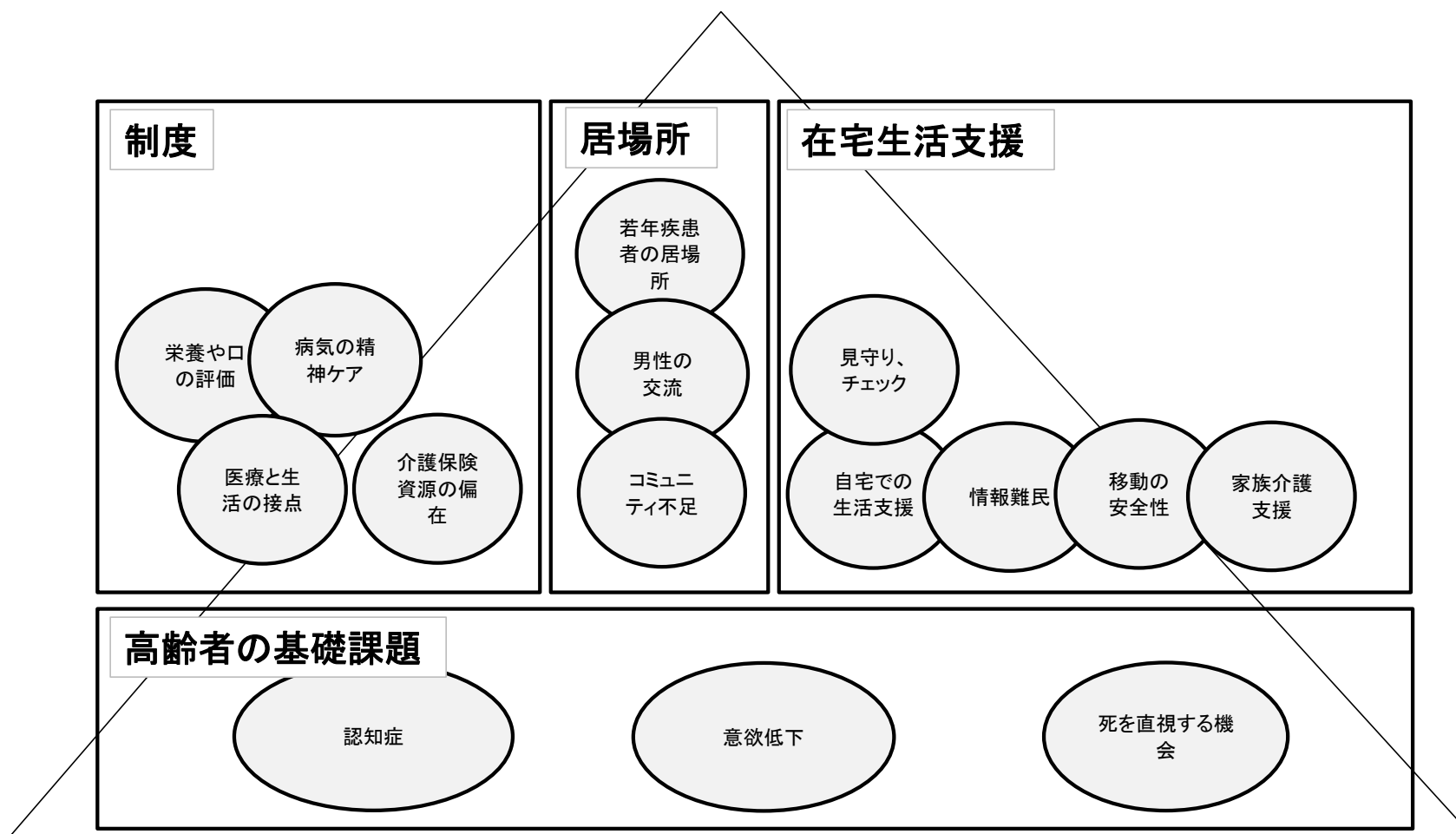


## 地域ケア会議学習会 事例概要と抽出された地域課題(H30. 6～R1. 8)

No.	事例概要	抽出された地域課題
1	進行性の難病宣告を受け、意欲低下。病気の進行を共有しながら、支援していくケース(75歳・男性・要支援2)	1 男性は特に交流の機会が少なくなる。テレビ番組など同じ趣味を通じた人と人のつながりができないか。 2 難病の場合は、同じ境遇にある人同士が交流すると励まされる。そうした会を積極的に案内しては(ピアサポート) 3 療法士がいる訪問看護事業所のリストがあれば、それをケアマネが活用できる
2	頸椎後縦靭帯骨化症の利用者に対する今後支援について(76歳・男性・要支援1)	1 利用者の自立支援に向けて、どのような手が打てるのかを考える際にリハビリ職のサポートが必要不可欠であり、ケアマネにリハビリ職が同行訪問できる体制があると良い。
3	2人暮らし 子どもが他県に在住 今後の生活の場を悩んでいるご夫婦のケース(妻85歳要支援2、夫89歳要支援1)	1 今後の希望について、エンディングノート等を活用して、確認し、優先順位付けをしてもらえそうなツールがあると良い。
4	バスに乗って自分で買い物に行きたい、商品を見て買いたいと臨んでいる利用者のケース(85歳・女性・要支援2)	1 訪問リハビリが有効なケースがあるが、市内には少なく連携が取りにくい 2 口腔機能の悪化は全身に悪影響を与えるが、口腔機能をチェックできる機会が少ない 3 買い物したものを帰るのに負担感を感じる人がある。配達してくれる店舗の情報がまとまっていると良い。
5	独居の高齢者男性。金遣いが荒く自由気ままに生活されているケース(84歳・男性・要介護1)	1 独居高齢者や後期高齢者のみ世帯の認知機能の低下が見つけにくい、支援につなげにくい。 2 家族が遠方にいる場合の支援者との連携や、日常生活習慣の管理が難しい。 3 車が運転できなくなった後に社会交流が途切れるリスクがある
6	身体状況が悪化する中、家で生活を強く望んでいる一人暮らしのケース(82歳・男性・要介護2)	1 独居の人の見守り体制(夜、緊急時) 2 介護保険外のホームヘルプができる事業所がほとんどない 3 プライドが高い人(男性)の活躍できる場がない
7	左半身麻痺と高次脳機能障害があり体重120キロの方、デイでのトラブルが絶えないケース(65歳・男性・要介護4)	1 若年の障がい者が参加できるサロンがない。病気の性質を学ぶ場がない。 2 家族介護者が介護技術を知る機会、勉強会がない 3 訪問栄養士の活用促進(やまびこ栄養ケアステーション)
8	物忘れがありながらも住み慣れない環境で過ごす利用者様の今後の支援について(87歳・女性・要介護1)	1 大型マンション居住者のつながりや見守り体制の困難。 2 生活水準が高い人の居場所(通いの場)がない。 3 転入者が気軽に集うことができる場がない。
9	50代の娘と二人暮らし。娘が遠方で就労しており、日中長い時間一人で過ごす認知症がある女性(92歳・女性・要介護2)	1 認知症の方の日中独居時の見守り体制の不足 2 小規模多機能を軽度の人を利用しにくい(重度の人の受け皿になってしまっている) 3 同居者がいても仕事などで不在時間が多く支援できない
10	日中テレビを見て過ごし、閉じこもりがち。認知症も進行する中、サービス導入に至らない事例(81歳・男性・要介護1)	1 作業療法が提供できる訪問系サービスが少ない 2 サービス利用につながらない人の介護者支援がない 3 地域資源のことを当事者・支援者ともに知らない
11	他市から転居してきた認知症の独居女性 介護サービス拒否 今後の生活は?(78歳・女性・要支援2)	1 転入者がコミュニティになじむまでに時間がかかる 2 栄養に関するアドバイスを受ける場がない 3 一人ぐらしの認知症初期の方の見守り体制の不足
12	介護保険新規申請するも、サービス利用を拒否(84歳・女性・要介護2)	1 介護者の集いの場がない 2 働きながら認知症の介護を学ぶ場がない 3 認知症専門医につなげにくい
13	50代半ばで認知症を発症した女性のケース(62歳・女性・要支援1)	1 若年性認知症の人を受け入れる環境が整っていない 2 車生活が当たり前の習慣になっていて、車以外の交通手段を使う習慣がない 3 東小学校区でも、近所付き合いはあっても生活のことまでは互いに触れない
14	仕事が上手くいかない孫の心配で、体調を悪化させてしまう利用者の事例(85歳・女性・要支援2)	1 ヘルパーステーションが少ない 2 ひきこもりや就職がうまくいかない人等の相談窓口がない 3 栄養の支援に関するメニューが限られる

## 地域課題キーワードの抽出と構造ピラミッド

- 1 抽出された地域課題から特徴的な15の課題キーワードを導いた
- 2 キーワードを4つのカテゴリーに分類した
- 3 各キーワードの相関関係をピラミッド型に配置(下部ほど根幹的な課題)



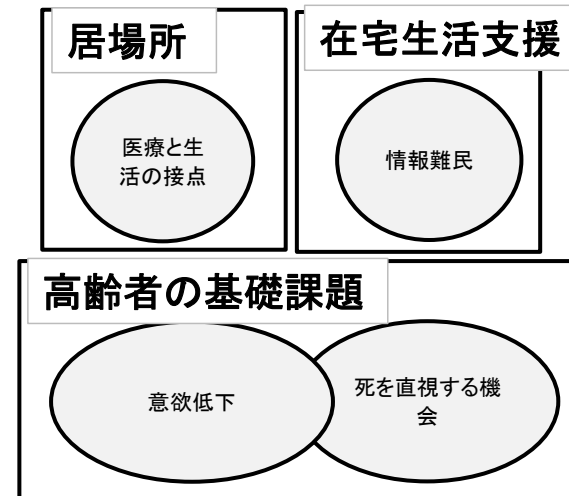
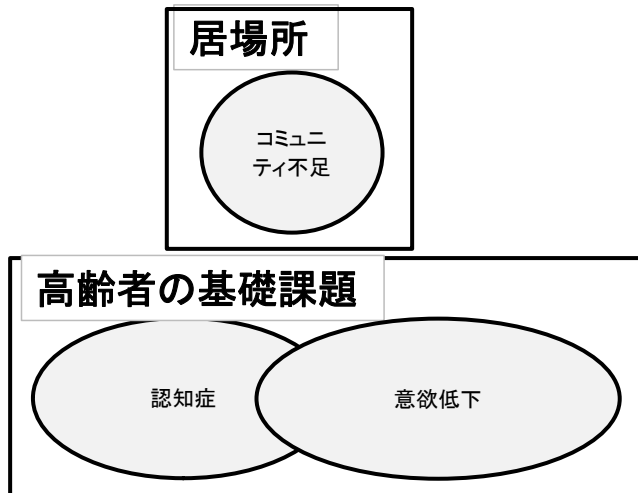
## 課題の解決に向けた考え方の例

(例) 通いの場づくりの際の視点

参加したい人・できる人だけが参加できるコミュニティではなく、認知機能低下や意欲低下があっても新たに参加したり、継続して参加し続けられるコミュニティを作っていく必要がある。

(例) 情報の効果的・効率的な提供の視点

単に多くの情報を伝えていくのではなく、情報収集意欲が低下していることを前提としつつ、医療との連携を図りながら、将来(死)の不安に少しでも寄り添えるような情報提供や機会創出を行う必要がある。



### 【今後の分析方針(案)】

- ・こうした方法論で各地域課題・キーワードに対して、どのように政策・事業形成していくか、多様な関係者の声を聞きつつ、検討を進める。
- ・次回の運営協議会(3月予定)にて進捗を報告する。